

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立大徳小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	17.9	36.6	31.7	12.2	1.6
問2	英語の勉強は大切だ。	65.0	30.1	2.4	2.4	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	22.8	64.2	8.9	4.1	0.0
問4	英語の授業がわかる。	28.5	49.6	18.7	3.3	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	7.3	56.1	26.8	9.8	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	10.6	52.0	30.1	7.3	0.0
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	87.8	7.3	3.3	1.6	0.0
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	85.4	7.3	6.5	0.8	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	51.2	29.3	14.6	4.9	0.0
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	13.8	40.7	32.5	13.0	0.0

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・相手意識を単元のゴールに盛り込んで活動すると意欲的になったので、今後も工夫していきたい。
- ・英語を学ぶ意欲を多角的に高める必要がある。選んだり考えたり他教科と関連付けたりと来年度からの英語の教科書の趣旨のように、視野を広める活動を意識していきたい。

③学校関係者評価

- ・パソコン入力をする機会が増え、アルファベットやローマ字には、子どもたちは慣れてきている。
- ・小学校で英語に親しみを持ってても、中学校へ行くと難しくなり、英語が苦手になる子もいるため、小中の連携を更に深めていくとよい。
- ・「英語の勉強は大切だ。」と考える子どもの割合を更に増やすために、英語の必要感を感じさせる場を増やせるとよい。